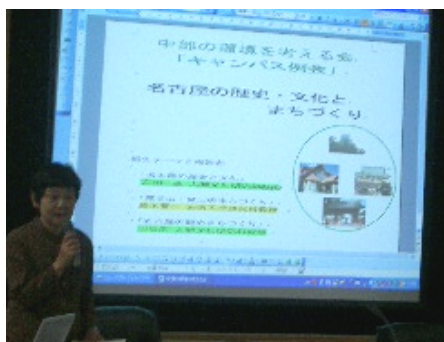


盛況の「キャンパス例会」

中部の環境を考える会の「キャンパス例会」が4月14日(土)に大学の1階会議室で行われた。昨年について2回目である。大学と地域、環境 NGO との連携を深めるために企画準備してきた。今回は中日新聞などに大きめに報じられたこともあり、昨年より参加者がかなり多く盛況であった。中部の環境を考える会の田中事務局長の挨拶のあと、まず本研究科の吉田一彦教授が「名古屋の歴史と文化」について報告した。資料は名古屋の観光の講義録を編集した冊子であり、講義や共同研究の紹介にもなった。



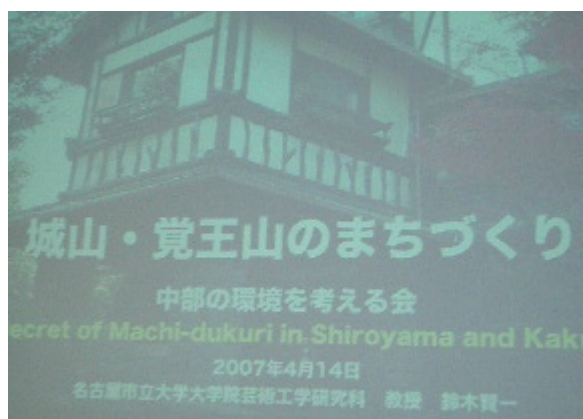
つぎに私が「名古屋の観光まちづくり」というテーマですこし問題を提起した。観光の講義をベースにして、まちづくりに力点を置いて話をした。

最後は芸術工学研究科の鈴木賢一教授が「城山・覚王山のまちづくり」と



題して、建築家らしく写真や地図などを使って

ビジュアルに報告した。パワーポイントは「パワー」の違いを見せつけられた。教授が長年にわたり NPO などで活躍されており、報告には説得力があった。城山や覚王山のまちづくりには、前から関心をもっており、配布された NPO 作成の地図を持ってじっくり散策してみるつもりだ。「キャンパス例会」をぜひ継続させたい。



(2007年5月6日 記)